

[場所の表示] パネル – Bing Maps サービス

表示画面のサイドバーにはオプションで [場所の表示 (Show Places)] パネルがあります。これは地図縮尺と地理座標を用いて、あるいは地物や関心のある地域の名称を検索して指定した場所を拡大表示するものです。頻繁に参照する画面に名前を付け保存することもできます。[場所の表示] パネルはサイドバーに任意に表示して簡単に利用できるパネルの1つです。これらの各パネルやサイドバー全体はマウスクリックひとつで開閉できます。オプションの [凡例 (Legend)]、[拡大鏡 (Magnifier)]、[ロケータ (Locator)] 等のサイドバーパネルツールについてはテクニカルガイド「空間表示：サイドバーと拡大鏡ツール (Spatial Display: View Window Sidebar and Magnifier)」で解説されています。

[場所の表示] パネルでは以下の操作ができます。

- カスタムまたは事前に用意されたズームスケールを使用した [目的地の拡大 (Zoom to Location)] ツール 
- マイクロソフトの Bing Maps 位置検索サービス
- ある特定の場所に画面を再配置するための位置の保存機能

マイクロソフトの Bing Maps 位置検索サービス

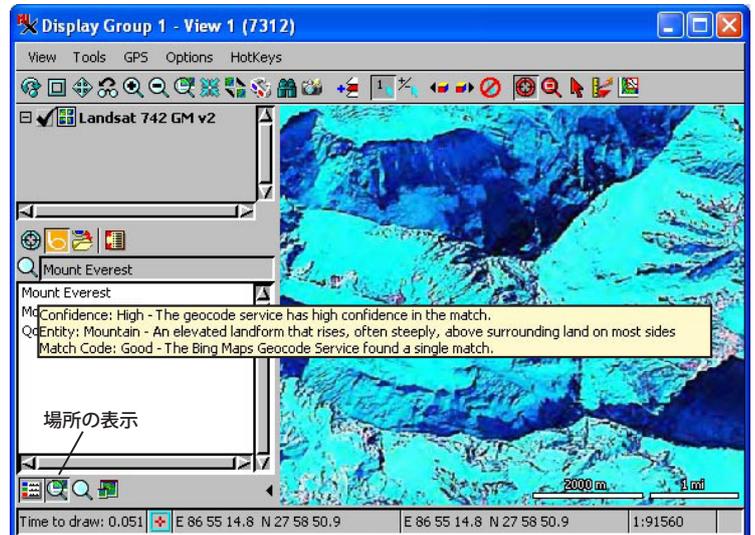
Bing Maps サービスはマイクロソフト社の Bing ジオコードサービスを利用して住所、場所、地理的特徴を地図座標に一致させます。マイクロイメージ社が毎月ライセンス料を支払っているため、TNTPro 製品のユーザに対してはマイクロソフトの Bing Maps ロケーションサービスの利用が認められています。しかし、このサービス利用に際してはマイクロソフト社の利用規約に同意する必要があります。この機能を初めて利用する時に、マイクロソフトのエンドユーザー利用規約が表示されますので、それに同意する必要があります。

クエリー

住所、居住地域の名称、地物の名称やランドマークをこのフィールドにタイプし、クエリーアイコンをクリックするかエンターキーを押すと、検索して結果を表示します。

検索結果一覧

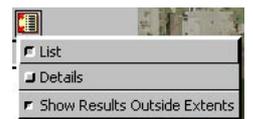
検索結果一覧に表示される検索結果の数はクエリーのテキストにどれくらい詳しくそのロケーションを定義したかによって決まります。都市名を1つ入力しただけでは複数の検索結果が出るでしょう。都市名と州名を入力すると、おそらく結果は1つに限定されるでしょう。通り名を入力するとかなり限定されますが、北や南などの詳細が含まれていない場合は複数の結果が出るでしょう。グループやレイアウトの範囲内にある検索結果の上でクリックすると、その位置が拡大表示されます。



もし詳細設定で多くの情報を表示するように設定していれば、名前の他に多くの項目が検索結果一覧に表示されます。これらの項目には信頼度、実体の説明、マッチコード (例えば、良好 / 不明瞭)、計算方式が含まれます。これら全ては Bing Maps から返ってきた値です。これらの値をスクロールして参照したり、あるいはカーソルを1つの結果の上に置くと、データチップを表示してより詳細な情報を見ることができます。詳細設定が [リスト (List)] でも [詳細 (Details)] でも同じのデータチップが表示されます。

詳細設定

Bing Maps サービスの詳細設定は結果一覧の表示の仕方を決めます。[リスト] トグルボタンがオンの場合は、検索結果の名前だけが一覧表示されます。[詳細] がオンの場合は上の結果一覧ですでに説明したような他の項目も表示されます。[範囲外の結果の表示 (Show Results Outside Extents)] オプションを選択するとその画面の全レイヤの全体範囲の外の場所も検索結果リストの一番下に灰色で表示します。データチップの一番上の行ではその検索結果がグループ全体の範囲外であることを伝えてくれます。Bing Maps レイヤやその他のレイヤを [グループ範囲から除外 (Exclude from group extents)] トグルボタンをオンにして表示していると、捜している位置がグループの範囲内にあるかを決めるとき、含まれているその他のレイヤの範囲のみが考慮されます。



Name	Confidence	Entity
Mount Everest	High	Mountain
Mount Everest, MA	High	Mountain
Qomolangma, China	High	Reserve